

青森市埋蔵文化財調査報告書 第119集

市内遺跡

発掘調査報告書24

平成27年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第119集

市 内 遺 跡

発掘調査報告書24

平成27年度

青森市教育委員会

例 言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて平成27年度に実施した市内遺跡発掘調査事業の調査報告書であり、分布・試掘・確認調査等の成果を収録したものである。
2. 調査を実施した遺跡および地区は下記のとおりである。
 - ① 分布調査 青森市東部地区ほか市内各所
 - ② 試掘・確認調査 三内丸山(5)遺跡、近野遺跡①、露草遺跡、本郷松元遺跡、野田遺跡、山本(2)・山本(3)遺跡、宮本(2)遺跡、三内沢部(3)遺跡、中屋敷遺跡、近野遺跡②、野尻(4)遺跡、近野遺跡③、阿部野(2)遺跡
3. 本書で使用した「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無を確認するための調査(未登録地の調査)、「確認調査」とは周知の埋蔵文化財包蔵地の内容等を把握するための部分的な調査を示す。
4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一・設楽政健が担当した。分担は、第三章第2節1.の本文を設楽が、それ以外の執筆・編集を木村が担当した。
5. 挿図の縮尺は各図にスケールを付した。なお、写真図版の縮尺は統一を図っていない。
6. 図版番号および表番号ならびに写真番号は、「第〇図」、「第〇表」、「写真〇」とし、順番に通し番号を付した。
7. 出土遺物及び原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。

目 次

例言
目次

第Ⅰ章 事業実施の概要	
第1節 調査要項	1
第2節 事業照会の概要	1
第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等	
第1節 新規登録遺跡	11
第2節 範囲変更遺跡	11
第3節 名称変更遺跡	11
第Ⅲ章 分布・試掘・確認調査	
第1節 分布調査	13
第2節 試掘・確認調査	
1. 三内丸山(5)遺跡	13
2. 近野遺跡①	14
3. 露草遺跡	15
4. 本郷松元遺跡	17
5. 野田遺跡	17
6. 山本(2)・(3)遺跡	20
7. 宮本(2)遺跡	20
8. 三内沢部(3)遺跡	22
9. 中屋敷遺跡	24
10. 近野遺跡②	25
11. 野尻(4)遺跡	27
12. 近野遺跡③	29
13. 阿部野(2)遺跡	35
補足資料	36
報告書抄録	37
既刊埋蔵文化財関係報告書一覧	

第1章 事業実施の概要

第1節 調査要項

1. 事業目的

近年、青森市内各所において、住宅建設や携帯電話基地局鉄塔建設などの小規模開発や太陽光発電所の建設計画が増加しており、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡が増加している。

貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状把握や、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録など詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地およびその隣接地の分布調査や開発行為に先立つ試掘・確認調査を実施するものである。

なお、本事業は国・県の補助金交付を受けている。

2. 対象地域・遺跡名

①分布調査 青森市東部地区ほか市内各所

②試掘・確認調査 三内丸山(5)遺跡、近野遺跡①、露草遺跡、本郷松元遺跡、野田遺跡、山本(2)・山本(3)遺跡、宮本(2)遺跡、三内沢部(3)遺跡、中屋敷遺跡、近野遺跡②、野尻(4)遺跡、近野遺跡③、阿部野(2)遺跡

3. 事業実施期間

平成27年4月9日～平成28年3月31日

4. 調査指導機関 文化庁文化財部記念物課、青森県教育庁文化財保護課

5. 調査体制

調査事務局

教育長	月永 良彦
教育部長	成田 聖明
理事	横山 克広
文化財課長	白取 慎也
主 幹	伊丸岡裕之
"	児玉 大成
主 査	齊藤 寛和
"	澤谷 結美子(庶務担当)
"	辻村 泰成
文化財主査	木村 淳一(調査担当)
"	小野 貴之
"	設楽 政健
主 事	雪田 幸誠
"	里村 真吾

第2節 事業照会の概要

青森市内で登録されている周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、遺跡)は、昨年度から新規登録した8遺跡(県:3、市:5)が追加となり、平成28年1月31日現在で422遺跡である。

当委員会では、遺跡と開発事業との円滑な調整を図ることを目的として、事業の初期段階で開発予定地内における遺跡の有無を照会するよう、市広報紙やホームページ上で呼びかけている。事業照会は、民間関係と市関係課からの照会があり、両者とも当委員会文化財課(以下、当課)で受け付けており、照会者の来課による直接照会だけでなく、遠方で来課できない場合、郵送・メール・FAX等にも対応している。また、市関係課については5月に全庁一斉照会を実施している。回答は埋蔵文化財包蔵地台帳や遺跡地図を基に、照会者(市関係課を含む)の希望に応じて、書面または口頭により回答しており、当課からの回答は、「遺跡に該当している」(表中回答Aと表記)、「遺跡に隣接している」(表中回答Bと表記)、「遺跡に該当していない」(表中回答Cと表記)の三種である。このうち、AもしくはBと回答した事例は、民間では177件(約28.5%)、庁内関係で82件(約23.7%)であり、今年度はこれらのうち、13件について試掘・確認調査を実施した。

昨年度報告分以降の平成27年分(平成27年1月～11月※平成26年12月分の追加2件を含む)における来課の照会概要を第1表、平成27年分(平成27年1月～11月)における庁内照会概要を第2表に記載した。昨年度分は1月6日～3月31日までに計139件(民間125件、庁内関係14件[47箇所])の照会があり、件数は前年度の同じ時期まで(146件)と比較すると5%程度減少している。しかし、照会地の実数と比較すると172箇所(相当し、前年度実数(156箇所)と比較すると1割増である。今年度分は4月1日から11月30日までに計559件(民間495件、庁内関係64件)の照会があり、前年度の同時期(計554件、うち民間490件・庁内関係64件)と比較すると微増である。

対象地区ごとの照会件数を見ると青森地区が918件(95%:H26年=841)、浪岡地区48件(5%:H26年=54件)と青森地区が圧倒的に多い状況である。単純に開発件数の差以外に埋蔵文化財に関する照会を行う事業者数の差である可能性が高い。照会の目的については、資産価値の判定や売買を目的とした照会(物件調査・不動産鑑定等)が459件(約51%:H26年=475件)と大半を占める。また、土木工事関連では個人住宅や携帯電話基地局など中小規模の建設工事の他、メガソーラー太陽光発電所建

設予定に関する大規模な開発予定が多くみられた。

個人住宅については、物件調査・不動産鑑定時に埋蔵文化財包蔵地と判明してそのまま協議に移る事例が多くみられたが、建築確認申請時に建築指導課経由で審査された際に偶発的に埋蔵文化財包蔵地の所在が判明し、直接協議に至る事例がある。昨年年度も指摘したが、住宅の建築確認申請の大半は、外部の指定確認検査機関（建築住宅センター等）による審査が多く、検査機関経由で埋蔵文化財包蔵地の有無照会は行われていない。このことから、本報告分以外に無照会の開発は更に存在していることが推察される。

ただし、住宅建築については、付随する公設樹設置工事が本市の関係課である八重田浄化センターから照会されている。周知の埋蔵文化財包蔵地内での

開発が行われたかについて公設樹が新設の場合は、確認することができ、2遺跡で実施されたことが確認されている。

昨年度の報告以降、平成27年の文化財保護法第93条および第94条に基づく、届出・通知（土木工事等のための発掘に関する届出および指示）は46件、33遺跡について行われた（第3表）。第93条に係る届出（民間による事業）は25件、第94条に係る通知（公共事業）21件あり、昨年度と同じ時期（第93条27件、第94条31件）と比べると公共事業に関する94条が約3割減である。無届・未通知のまま工事着手し、事後に順末書が付された事例が7例（第3表中「厳重注意」と記載されたものが相当）あり、発掘調査が終了した地点の別工事に伴う無届の事例も含まれる。

第1表 平成26年12月～平成27年11月民間からの事業照会一覧

No.	発掘日	地区	町界	開発目的	照会種別
108	10/18,19	青森	新宮町福ノ沢	不動産鑑定評価	C
109	10/18,19	青森	新宮町山田	物件調査	C
1	10/17,18	青森	築町1丁目	物件調査	C
2	10/17,18	青森	築町2丁目	物件調査	C
3	10/17,17	青森	中野町中野	物件調査	C
4	10/17,17	青森	新宮町元宮	物件調査	C
5	10/17,18	青森	石江字山田	物件調査	C
6	10/17,14	青森	築本1丁目	物件調査	C
7	10/17,14	青森	築本3丁目	物件調査	C
8	10/17,14	青森	築町2丁目	物件調査	C
9	10/17,14	青森	築町1丁目	物件調査	C
10	10/17,14	青森	築町4丁目	物件調査	C
11	10/17,15	青森	築山字川原	不動産鑑定評価	C
12	10/17,16	青森	石江字山田	物件調査	C
13	10/17,19	青森	一宮町築文	物件調査	C
14	10/17,19	青森	下里町1丁目	物件調査	C
15	10/17,20	青森	築町1丁目	不動産鑑定評価	C
16	10/17,21	青森	築町3丁目	不動産鑑定評価	C
17	10/17,23	青森	築町4丁目	不動産鑑定評価	C
18	10/17,23	青森	築町北六郎	不動産鑑定評価	C
19	10/17,23	青森	野村字橋子	不動産鑑定評価	C
20	10/17,26	青森	築山字川原	その他（不動産売買）	C
21	10/17,26	青森	本町1丁目	物件調査	C
22	10/17,26	青森	築町築山田	物件調査	C
23	10/17,27	青森	青森3丁目	不動産鑑定評価	C
24	10/17,27	青森	西大野4丁目	物件調査	C
25	10/17,27	青森	築町1丁目	物件調査	C
26	10/17,27	青森	本郷2丁目	建設計画（電柱）	A
27	10/17,28	青森	築町築山田	土木工事計画（埋蔵文化財包蔵地）	C
28	10/17,29	青森	宮野字御前本	土木工事計画（埋蔵文化財包蔵地）	C
29	10/17,29	青森	築町4丁目	物件調査	C
30	10/17,23	青森	築本1丁目	不動産鑑定評価	C
31	10/17,23	青森	築本1丁目	建設計画（掘削・住宅）	C
32	10/17,23	青森	築山字山田	物件調査	C
33	10/17,23	青森	築山字山田	不動産鑑定評価	C
34	10/17,23	青森	築本2丁目	不動産鑑定評価	C
35	10/17,23	青森	築町字山本	不動産鑑定評価	C
36	10/17,24	青森	築本4丁目	物件調査	C
37	10/17,24	青森	築本1丁目	不動産鑑定評価	C
38	10/17,24	青森	八重田字平野	建設計画（廃車庫・掘削）	A
39	10/17,24	青森	本郷2丁目	物件調査	C
40	10/17,24	青森	新宮町福ノ沢	建設計画（掘削・店舗）	C
41	10/17,24	青森	築本道1丁目	物件調査	C
42	10/17,24	青森	一宮町築文	物件調査	C

No.	発掘日	地区	町界	開発目的	照会種別
43	10/17,24	青森	築見1丁目	物件調査	C
44	10/17,24	青森	一宮町築文	物件調査	A
45	10/17,24	青森	築見1丁目	物件調査	C
46	10/17,24	青森	石江字山田	建設計画（掘削・その他）	C
47	10/17,24	青森	築町1丁目	不動産鑑定評価	C
48	10/17,24	青森	築本2丁目	物件調査	C
49	10/17,24	青森	築山字山田	物件調査	C
50	10/17,24	青森	石江字山田	土木工事計画（埋蔵文化財包蔵地・店舗）	A
51	10/17,24	青森	築本2丁目	建設計画（掘削・住宅）	C
52	10/17,27	青森	築山字山田	不動産鑑定評価	C
53	10/17,27	青森	築町字山田	不動産鑑定評価	C
54	10/17,21	青森	石江字山田	物件調査	C
55	10/17,21	青森	一宮町築文	物件調査	B
56	10/17,21	青森	築町2丁目	不動産鑑定評価	C
57	10/17,21	青森	築町字山田	建設計画（掘削・住宅）	A
58	10/17,21	青森	築町字山田	土木工事計画（埋蔵文化財包蔵地）	C
59	10/17,21	青森	築本町築文	その他（埋蔵文化財包蔵地）	C
60	10/17,21	青森	築山字山田	その他（埋蔵文化財包蔵地）	B
61	10/17,21	青森	築山字山田	その他（埋蔵文化財包蔵地）	C
62	10/17,21	青森	野村字川原	その他（埋蔵文化財包蔵地）	C
63	10/17,21	青森	築山字山田	その他（埋蔵文化財包蔵地）	C
64	10/17,24	青森	一宮町築文	物件調査	C
65	10/17,24	青森	築町2丁目	物件調査	C
66	10/17,24	青森	築町3丁目	不動産鑑定評価	C
67	10/17,23	青森	築本1丁目	物件調査	C
68	10/17,23	青森	築山字山田	物件調査	C
69	10/17,23	青森	築本2丁目	物件調査	C
70	10/17,24	青森	築本1丁目	建設計画（掘削・住宅）	C
71	10/17,26	青森	築本1丁目	物件調査	C
72	10/17,26	青森	築本2丁目	物件調査	C
73	10/17,26	青森	築本1丁目	不動産鑑定評価	A
74	10/17,22	青森	築山字山田	物件調査	C
75	10/17,22	青森	築町3丁目	建設計画（掘削・住宅）	C
76	10/17,22	青森	築山字山田	不動産鑑定評価	C
77	10/17,22	青森	築本2丁目	不動産鑑定評価	C
78	10/17,22	青森	築町字山田	不動産鑑定評価	C
79	10/17,22	青森	築本2丁目	物件調査	C
80	10/17,24	青森	築本1丁目	建設計画（住宅）	C
81	10/17,24	青森	築本4丁目	建設計画（住宅）	C
82	10/17,24	青森	築本4丁目	物件調査	C
83	10/17,24	青森	大宮字山田	物件調査	C
84	10/17,24	青森	大野道地区	土木工事計画（その他）	C
85	10/17,24	青森	築山字山田	土木工事計画（その他）	A

No.	年月日	報告書	地区	計画(計画名)	事業内容・関係団体	担当連絡者
16	127.8.12	電気設備点検業務計画	群馬	大野地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.2	C
				高島地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.3	C
				平塚地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.4	C
				前原駅前	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.5	C
				前原駅前	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.6	C
				宇都宮1号	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.7	C
				高野地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.9	C
				高野地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.10	C
				池田地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.11	C
				池田地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.12	C
				基本地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.13	C
				高尾地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.18	C
				湯田地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 16.5 No.19	C
				前原駅前	その他「道新線調査区」 既設架線工事 17.18 No.1	C
				湯田地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 17.9 No.4	C
				高野地区	その他「道新線調査区」 既設架線工事 17.9 No.7	C
17	127.8.23	電気設備点検業務	群馬	上土地区	B 関係団体・高尾(池)連絡	
18	127.8.8	水害復旧	群馬	前原3丁目	土木工事	
				池田地区	土木工事	
19	127.8.7	電気設備点検業務	群馬	前原駅前	材料採取	
40	127.8.10	大東山浄化センター	群馬	前原2丁目	公道新設工事%63	C
				大野駅前	公道新設工事%64	C
				前原3丁目	公道新設工事%65	C
				湯田駅前	公道新設工事%66	C
				湯田4丁目	公道新設工事%67	C
				高野駅前	公道新設工事%68	C
				前原駅前	公道新設工事%69	C
				前原駅前	公道新設工事%71	C
				大野駅前	公道新設工事%72	C
				前原2丁目	公道新設工事%73	C
				湯田駅前	公道新設工事%74	C
				湯田1丁目	公道新設工事%75	C
				前山法蓮	公道新設工事%76	C
				湯田4丁目	公道新設工事%77	C
				前山法蓮	公道新設工事%78	C
				大平丸山	公道新設工事%79	C
41	127.8.10	電気点検業務	群馬	前原学野山	土木工事計画(土木)・ 既設架線工事	B 西高校連絡
42	127.8.14	電気設備点検業務	群馬	前原学野山	土木点検等	C
43	127.8.17	電気設備点検業務	群馬	大平丸山	土木点検等	C
44	127.8.3	電気設備点検業務	群馬	前原学野山	高尾地区(池田)既設架線工事	B 関係団体・池田連絡
				前原学野山	高尾地区(池田)既設架線工事	
				高野地区	高尾地区(池田)既設架線工事	
45	127.8.25	電気設備点検業務	群馬	前原学野山	土木点検等	C
46	127.8.29	電気設備点検業務	群馬	大野駅前	土木点検等	C
47	127.8.31	電気設備点検業務	群馬	上土地区	点検等	C
48	127.8.3	電気設備点検業務	群馬	大野駅前	材料採取	C
49	127.8.12	大東山浄化センター	群馬	前原地区	公道新設工事%69	B 湯田(1)連絡
				大平学野山	公道新設工事%80	C
				大野駅前	公道新設工事%81	C
				湯田6丁目	公道新設工事%82	C
				湯田2丁目	公道新設工事%83	C
				湯田駅前1	公道新設工事%84	C
				湯田1丁目	公道新設工事%85	C
				湯田3丁目	公道新設工事%87	C

49	127.8.17	大東山浄化センター	群馬	前山法蓮	公道新設工事%88	C
				湯田1丁目	公道新設工事%89	C
				湯田3丁目	公道新設工事%91	C
				湯田3丁目	公道新設工事%92	C
				湯田3丁目	公道新設工事%93	C
50	127.9.24	電気設備点検業務	群馬	前原学野山	土木点検等	B (池)1連絡
				前原学野山	土木点検等	B (池)1連絡
51	127.10.2	電気設備点検業務	群馬	湯田3丁目	土木点検等	C
52	127.10.5	電気設備点検業務	群馬	前山法蓮	その他(大東山)既設架線工事	C
53	127.10.2	電気設備点検業務	群馬	前山法蓮	土木点検等	C
54	127.10.9	電気設備点検業務	群馬	前原学野山	土木点検等	B (池)1(4)連絡
55	127.10.19	大東山浄化センター	群馬	前山法蓮	公道新設工事%99	A 湯田(1)連絡
				前原学野山	公道新設工事%103	A 前原学野山(1)連絡
				前山法蓮	公道新設工事%115	B 湯田(1)連絡
				前原学野山	公道新設工事%118	B 湯田(1)連絡
				大野駅前	公道新設工事%94	C
				湯田1丁目	公道新設工事%95	C
				湯田2丁目	公道新設工事%96	C
				湯田1丁目	公道新設工事%97	C
				湯田4丁目	公道新設工事%98	C
				大東山浄化センター	公道新設工事%100	C
				湯田1丁目	公道新設工事%101	C
				前山法蓮	公道新設工事%103	C
				前山法蓮	公道新設工事%104	C
				湯田2丁目	公道新設工事%105	C
				湯田3丁目	公道新設工事%106	C
				湯田2丁目	公道新設工事%107	C
				湯田学野山	公道新設工事%108	C
				湯田学野山	公道新設工事%109	C
				湯田学野山	公道新設工事%110	C
				大野駅前	公道新設工事%111	C
				大野駅前	公道新設工事%113	C
				高野地区	公道新設工事%115	C
				前山法蓮	公道新設工事%114	C
				湯田3丁目	公道新設工事%116	C
				湯田1丁目	公道新設工事%117	C
				湯田1丁目	公道新設工事%121	C
56	127.10.22	電気設備点検業務	群馬	湯田1丁目	土木点検等	C
57	127.11.18	電気設備点検業務	群馬	前山法蓮	土木点検等	A 池田連絡
58	127.11.14	大東山浄化センター	群馬	前山法蓮	公道新設工事%122	B 池田連絡
				大野駅前	公道新設工事%127	B 湯田連絡
				前山法蓮	公道新設工事%128	B 湯田(1)連絡
				前山法蓮	公道新設工事%129	B 湯田(1)連絡
				前山法蓮	公道新設工事%134	B 湯田連絡
				前山法蓮	公道新設工事%135	C
				大野駅前	公道新設工事%136	C
				湯田2丁目	公道新設工事%138	C
				湯田2丁目	公道新設工事%139	C
				湯田2丁目	公道新設工事%140	C
				湯田2丁目	公道新設工事%141	C
				湯田2丁目	公道新設工事%142	C
				湯田2丁目	公道新設工事%143	C
				湯田2丁目	公道新設工事%144	C
				湯田2丁目	公道新設工事%145	C
				湯田2丁目	公道新設工事%146	C
				湯田2丁目	公道新設工事%147	C
				湯田2丁目	公道新設工事%148	C
				湯田2丁目	公道新設工事%149	C
				湯田2丁目	公道新設工事%150	C
				湯田2丁目	公道新設工事%151	C
				湯田2丁目	公道新設工事%152	C
				湯田2丁目	公道新設工事%153	C
				湯田2丁目	公道新設工事%154	C
				湯田2丁目	公道新設工事%155	C
				湯田2丁目	公道新設工事%156	C
				湯田2丁目	公道新設工事%157	C
				湯田2丁目	公道新設工事%158	C
				湯田2丁目	公道新設工事%159	C
				湯田2丁目	公道新設工事%160	C
				湯田2丁目	公道新設工事%161	C
				湯田2丁目	公道新設工事%162	C
				湯田2丁目	公道新設工事%163	C
				湯田2丁目	公道新設工事%164	C
				湯田2丁目	公道新設工事%165	C
				湯田2丁目	公道新設工事%166	C
				湯田2丁目	公道新設工事%167	C
				湯田2丁目	公道新設工事%168	C
				湯田2丁目	公道新設工事%169	C
				湯田2丁目	公道新設工事%170	C
				湯田2丁目	公道新設工事%171	C
				湯田2丁目	公道新設工事%172	C
				湯田2丁目	公道新設工事%173	C
				湯田2丁目	公道新設工事%174	C
				湯田2丁目	公道新設工事%175	C
				湯田2丁目	公道新設工事%176	C
				湯田2丁目	公道新設工事%177	C
				湯田2丁目	公道新設工事%178	C
				湯田2丁目	公道新設工事%179	C
				湯田2丁目	公道新設工事%180	C
				湯田2丁目	公道新設工事%181	C
				湯田2丁目	公道新設工事%182	C
				湯田2丁目	公道新設工事%183	C
				湯田2丁目	公道新設工事%184	C
				湯田2丁目	公道新設工事%185	C
				湯田2丁目	公道新設工事%186	C
				湯田2丁目	公道新設工事%187	C
				湯田2丁目	公道新設工事%188	C
				湯田2丁目	公道新設工事%189	C
				湯田2丁目	公道新設工事%190	C
				湯田2丁目	公道新設工事%191	C
				湯田2丁目	公道新設工事%192	C
				湯田2丁目	公道新設工事%193	C
				湯田2丁目	公道新設工事%194	C
				湯田2丁目	公道新設工事%195	C
				湯田2丁目	公道新設工事%196	C
				湯田2丁目	公道新設工事%197	C
				湯田2丁目	公道新設工事%198	C
				湯田2丁目	公道新設工事%199	C
				湯田2丁目	公道新設工事%200	C

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、遺跡とする)は、昨年度報告時(平成27年1月31日現在)414遺跡(青森地区318遺跡、浪岡地区96遺跡)であった(青森市教育委員会2015)。

第1節 新規登録遺跡

今年度、青森県教育委員会によって新たに荷越沢遺跡〔にごさわ〕(青森県遺跡台帳番号201-434)、女鹿沢野尻遺跡〔めがさわのじり〕(201-435)、樽沢村元(2)遺跡〔たるさわむらもと〕(201-436)が登録された。

青森市教育委員会が実施した分布・試掘・確認調査および工事立会い等の結果、山本(2)遺跡〔やまもと〕(201-432)、山本(3)遺跡(201-433)、山本(4)遺跡(201-437)、本郷松元遺跡〔ほんごうまつもと〕(201-438)、野田遺跡〔のだ〕(201-439)の5遺跡を新規登録した。

第2節 範囲変更遺跡

範囲変更遺跡は、今年度青森県教育委員会で実施された発掘調査の成果で三内丸山(6)遺跡(201-282)が変更されている。

青森市教育委員会が実施した試掘・確認調査の結果、第Ⅲ章第2節10.で報告したとおり、近野遺跡(201-065)の範囲が変更された。


第3節 名称変更遺跡

青森県教育委員会の指針では、遺跡名称について、大字・小字名を基本とし、同じ大字小字名の中で複数の遺跡が確認された時点で、最初の埋蔵文化財包蔵地に新たに〔1〕を付し、その次のものに〔2〕を付す形となっている。古い段階では、青森市内では、同じ大字・小字に複数ある遺跡に関しても〔1〕が付されるものと付されないものが混在した状況があったが、ここ10年の間に整理され、特別史跡三内丸山遺跡と国史跡である小牧野遺跡を除くほとんどの遺跡で、複数遺跡が存在する場合に〔1〕を付す原則が適用された。


問題としては、発掘調査実施時に〔1〕が付されない遺跡で報告書刊行された遺跡でも、その後の遺跡登録の状況で、遺跡名称が異なる事例(野木遺跡→野木(1)遺跡)があり、文献が引用される場合、混乱が生じている状態である。

今年度は、新規登録に伴い、青森県教育委員会が変更した樽沢村元(1)遺跡〔旧樽沢村元遺跡〕(201-412)と青森市教育委員会が実施した山本(1)遺跡〔旧山本遺跡〕(201-376)の2遺跡が名称変更された。


平成28年1月31日現在、青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は422遺跡(青森地区320遺跡、浪岡地区102遺跡)である。

遺跡番号	201-432	
遺跡名	山本(2)遺跡	
所在地	青森市浪岡大字大釈迦字山本	
種別	散布地	
時代	縄文(中・後)・平安	
遺物	縄文土器	
登録年月日	平成27年5月18日(青教文第184号)	
備考	現地踏査による。	


第1図 山本(2)遺跡範囲(S=1/25,000)

遺跡番号	201-433	
遺跡名	山本(3)遺跡	
所在地	青森市浪岡大字大釈迦字山本	
種別	散布地	
時代	縄文(後)	
遺物	縄文土器	
登録年月日	平成27年5月18日(青教文第184号)	
備考	現地踏査による。	

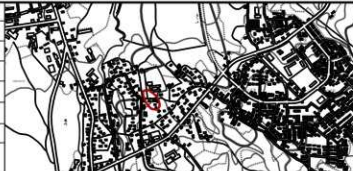
第2図 山本(3)遺跡範囲(S=1/25,000)

遺跡番号	201-437	
遺跡名	山本（4）遺跡	
所在地	青森市浪岡大字徳才子字山本	
種別	散布地	
時代	縄文（中・後）・平安	
遺物	縄文土器・土師器	
登録年月日	平成27年12月7日（青教文1346号）	
備考	現地踏査による。	


第3図 山本（4）遺跡範囲(S=1/25,000)

遺跡番号	201-438	
遺跡名	本郷松元遺跡	
所在地	青森市浪岡大字本郷字松元	
種別	散布地	
時代	平安	
遺物	土師器	
登録年月日	平成27年12月7日（青教文1346号）	
備考	工事立会・試掘調査結果による。	

第4図 本郷松元遺跡範囲(S=1/25,000)

遺跡番号	201-439	
遺跡名	野田遺跡	
所在地	青森市大字野尻字野田	
種別	集落跡	
時代	平安	
遺物	土師器	
登録年月日	平成27年12月7日（青教文1346号）	
備考	工事立会・試掘調査結果による。	

第5図 野田遺跡範囲(S=1/25,000)

遺跡番号	201-065	
遺跡名	近野遺跡	
所在地	青森市大字安田字近野ほか	
種別	集落跡	
時代	縄文（前・中・後）・平安	
遺物	縄文土器・石器	
登録年月日	平成27年12月7日（青教文1346号）	
備考	試掘・確認調査結果による。	

第6図 近野遺跡変更後遺跡範囲(S=1/25,000)

第Ⅲ章 分布・試掘・確認調査

第1節 分布調査

調査は、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録などを目的として、主に重点地域であった青森東部地区を中心に踏査しているが、大規模開発が計画された地点を重点的に踏査した。

今年度は、前章のとおり浪岡地区の山本(2)・(3)・(4)遺跡の三遺跡が新規登録となった。また、埋蔵文化財包蔵地の隣接地についても工事対象地の立会いと周辺の踏査を実施した。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地外から遺物の分布を確認し、新規登録に至った事例が複数ある。その他、踏査途中に周知の埋蔵文化財包蔵地内で無届の開発行為が行われているのを確認し、急速協議対応し顔末書と届出が提出された事例がある。

第2節 試掘・確認調査

1. 三内丸山(5)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字三内丸山 278-52

開発行為：資材置場

調査日：平成27年2月12日

調査面積：89.4㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年11月26日に当課に資材置場整備に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、三内丸山(5)遺跡に該当していることが判明した。協議の結果、確認調査を実施することとした。



第7図 三内丸山(5)遺跡トレンチ配置図



写真1 三内丸山(5)遺跡調査風景



写真2 トレンチ1(S-)



写真3 トレンチ10(B-)

c. 調査方法

本遺跡については、平成5年、18年、19年に確認調査を実施しているが、未調査範囲もあったことから、開発面積6,022㎡について12箇所の任意のトレンチを設定し、重機により掘削を行った。

d. 調査結果

調査の結果、各トレンチでは黒色土の堆積が10～40cmと薄く、概ねプライマリーな堆積を呈していたものの、遺構・遺物は確認できなかった。なお、平成5年のKトレンチより時期や性格が不明な炭化物と焼土を伴う遺構が検出されていることから、Kトレンチ付近については工事を実施せずに保存することとし、その他の区域は工事立会が望ましいと考えられる。

2. 近野遺跡①

a. 調査概要

調査地：青森市大字安田近野256-5

開発行為：住宅建設

調査日：平成27年5月19日

調査面積：23.1㎡

b. 調査に至る経緯

平成27年4月6日に当該に住宅建設に関する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、近野遺跡に該当していることが判明した。協議の結果、確認調査を実施することとした。

c. 調査方法

対象地174.13㎡に対し、任意にトレンチを6地点設定し、重機および人力による掘削を実施した。調査面積は、対象面積の13.2%に相当する23.1㎡である。

d. 調査結果

現況GLから地山面までの深さは、トレンチ1=62cm、トレンチ2=45cm、トレンチ3=59cm、トレンチ4=44cm、トレンチ5=23cm、トレンチ6=36cmと北西側の方が浅く、いずれの地点も削平された後に盛土された形跡確認された。また、トレンチ2と4の部分では前代の住宅の基礎の掘削痕が確認され、既に破壊されている状況である。(地権者の話によると昭和49年時点で造成済。)

掘削地点からは、いずれも遺構が確認されず、遺

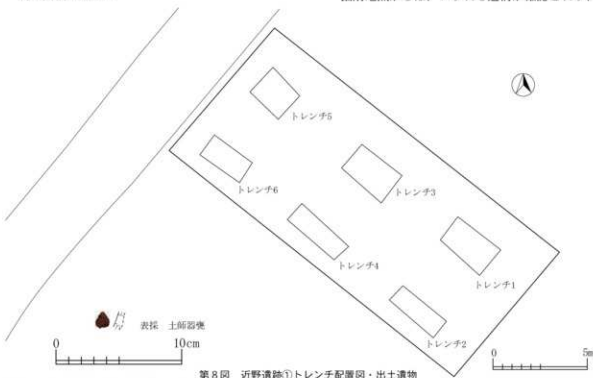


写真4 トレンチ1(NW→)



写真5 トレンチ3(NW→)



写真6 トレンチ5(NW→)

物はトレンチ6周辺から平安時代の土師器が表採されたのみである。よって、本地点については、建物建築について問題ないものと判断され、発掘届に対する青森県教育委員会の通知も慎重工事であった。

調査日：平成 27 年 5 月 20 日

調査面積：141.6㎡

b. 調査に至る経緯

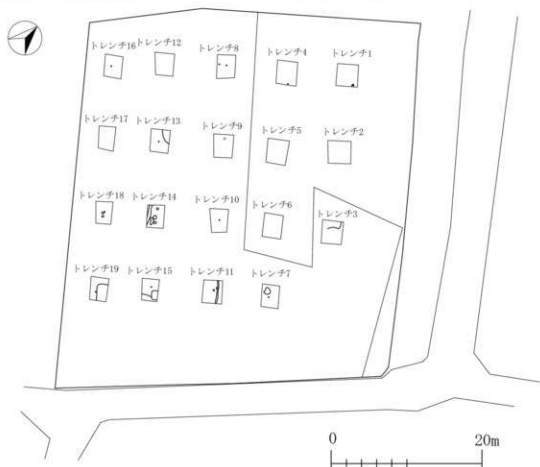
平成 26 年 11 月 17 日に当該に介護関連建設に関する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、露草遺跡に該当していることが判明した。協議の結果、平成 27 年の春の時点で確認調査を実施することとした。

3. 露草遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市八重田3丁目53-1・3

開発行為：介護関連施設建設



第9図 露草遺跡トレンチ配置図



写真7 調査前風景 (S→)



写真8 トレンチ7残土遺積 (S→)



写真9 トレンチ8遺物出土状況 (S→)



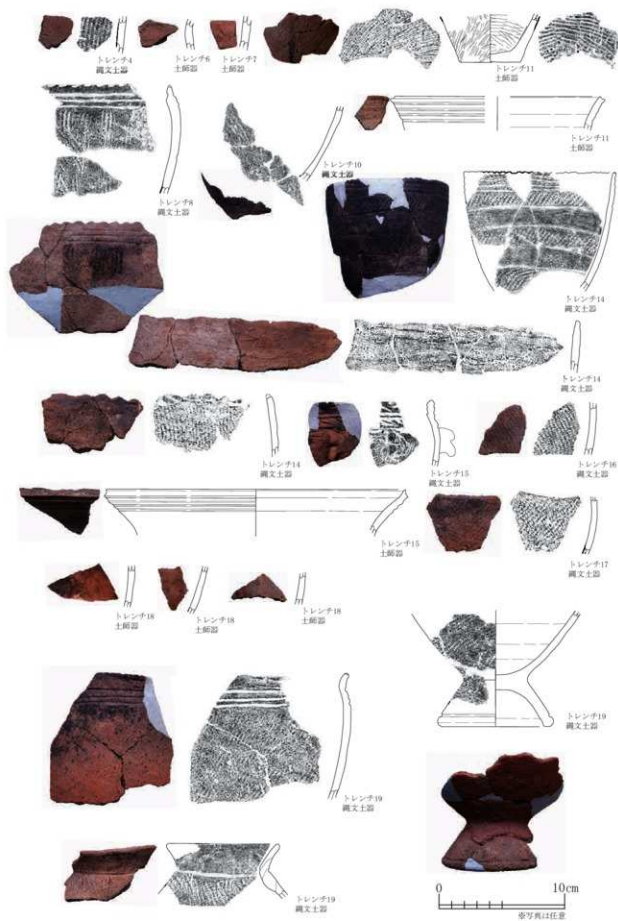
写真10 トレンチ11 (S→)



写真11 トレンチ14 (S→)



写真12 トレンチ15 (S→)



第10図・写真13 露草遺跡出土遺物

c. 調査方法

対象地 2,271m²に対し、任意にトレンチを 19 地点設定し、重機および人力による掘削を実施した。調査面積は、対象面積の 6.2% に相当する 141.6m² である。

d. 調査結果

現況 GL から地山面までの深さおよび遺構・遺物は、トレンチ 1=50cm・ピット 1・遺物無、トレンチ 2=40cm・遺構・遺物無、トレンチ 3=40cm・性格不明遺構 1 (堅穴建物?)・遺物無、トレンチ 4=30cm・ピット 1・縄文土器、トレンチ 5=40cm・遺構・遺物無、トレンチ 6=深さ 37cm・遺構無・土師器、トレンチ 7=深さ 34-46cm・焼土遺構 (カマド)・ピット・土師器・陶磁器、トレンチ 8=深さ 35cm・ピット 2・縄文時代晩期遺物多量、トレンチ 9=深さ 34cm・B-Tm 火山灰・炭化物、トレンチ 10=深さ 30-40cm・遺構無・縄文土器、トレンチ 11=深さ 36cm・溝跡・ピット (堅穴建物)・縄文土器・土師器、トレンチ 12=35-45cm・遺構無・縄文土器、トレンチ 13=39cm・性格不明遺構 1・縄文土器、トレンチ 14=30cm・溝跡・土坑・ピット (堅穴建物)・縄文土器多量 (床面直下)、トレンチ 15=深さ 38cm・性格不明遺構 (堅穴建物)・縄文土器、トレンチ 16=44cm・ピット・縄文土器、トレンチ 17=40cm・遺構無・縄文土器、トレンチ 18=38cm・土坑 2・ピット 1・縄文土器、トレンチ 19=44cm・性格不明遺構 1・縄文土器多量

調査の結果、奈良時代の堅穴建物跡の可能性が高い性格不明遺構や、カマドの火床面に相当する焼土遺構などが検出された。また、遺構確認面直下に縄文晩期の遺物包含層が確認され、多量の遺物が出土した。元々雑木林であった部分を伐採し、畑地とした際に上面は削平されたものと判断されるが、古代の遺構が残存した状況で確認でき、なおかつ縄文時代の遺物包含層は良好に残存している。開発予定者と協議の結果、遺構がないトレンチ 1・2・3・5・6 の 600m² を除く 1,671m² が発掘調査必要箇所とした。開発予定者から発掘届が提出され、平成 27 年 11 月 19 日付け青教文第 1269 号で「要発掘調査」の通知が伝達されている。その結果、平成 28 年度に当委員会が発掘調査を実施する予定である。

4. 本郷松元遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市浪岡大字本郷松元 31-2 地先外
開発行為：水道管理設
調査日：平成 27 年 5 月 22・25 日
調査面積：88.2m²

b. 調査に至る経緯

平成 26 年 12 月 1 日に青森市企業局水道部整備課から当該に周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、本郷八幡宮遺跡 (201-372) に隣接していることが判明した。協議の結果、平成 27 年度春の時点で工事立会いを実施することとした。

工事施工用の試掘の立会いで、平安時代の土器片が工事施工箇所周辺で表採できることが確認されたため、遺物分布が確認された地点の総延長 147 m に対し、工事に伴う開削の際に立会い調査を実施した。開削幅が約 60cm であるため、面積は 88.2m² である。

c. 調査結果

現況 GL から水道管理設のための開削深度が 96cm を基本としたため、原地形の形状によって地山面より深く掘削が行われる地点が存在する。第 11 図に提示したが開削した部分の▲印の地点の深さ約 1m から溝状の遺構を確認し、平安時代の土師器皿と甕が出土した。また、北側の★印の地点からは、直径 60cm 程度の土坑を確認したが、遺構確認面以上に掘削は行わず保存することになったため、確認に留めた。

調査の結果、平安時代の集落跡の一部であることが確認され、本郷松元遺跡 (201-438：第Ⅱ章参照) として新規登録された。

5. 野田遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市大字野尻字野田 27-1
開発行為：側溝設置
調査日：平成 27 年 5 月 30・31 日
調査面積：60.8m²

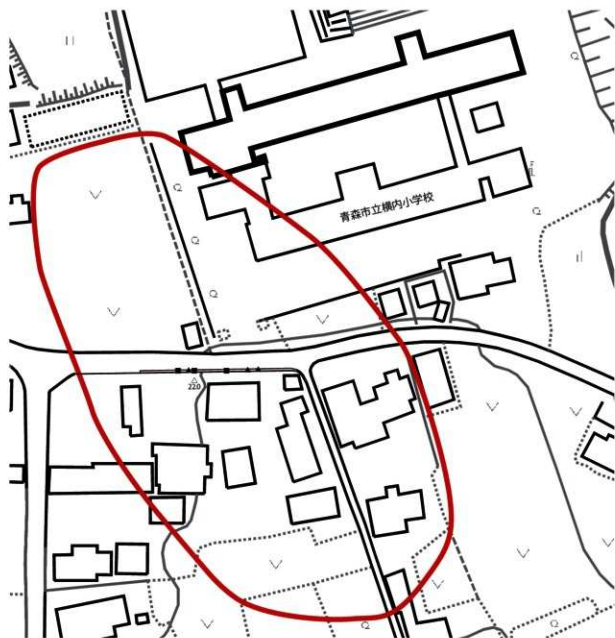
b. 調査に至る経緯

平成 27 年 4 月 1 日に青森市都市整備部道路維持課から当該に周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、野尻館遺跡 (201-173) に隣接していることが判明した。昨年度も隣接地の立会いを実施しており、協議の結果、同様に工事立会いを実施することとした。

工総延長 40 m に対し、工事に伴う開削の際に立会い調査を実施した。開削幅が約 52cm で、調査面積は、60.8m² である。

c. 調査結果

現況 GL から側溝設置のための開削が 56.5cm を基本としたため、原地形の形状によって地山面までの深度は異なっているが、地山より深い掘削は行わ



第13回 野田遺跡調査地点

■: 竪穴建物跡 ▲: 清跡

0 20m



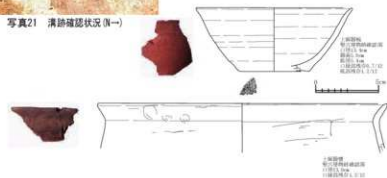
写真19 調査対象地点 (N-1)



写真21 清跡確認状況 (N-1)



写真20 竪穴建物跡確認状況 (N-1)



第14回・写真22 野田遺跡出土遺物

れていない。第13図に図示した開削部分の■印の箇所から平安時代の堅穴建物跡を確認し、第14図で図示した土師器が出土した。また、北側の▲印の地点からは、溝跡を二条確認した。

調査の結果、平安時代の集落跡の一部であることが確認され、野田遺跡(201-439;第2章参照)として新規登録された。

6. 山本(2)・(3)遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市浪岡大字大釈迦山本45-65外
開発行為：太陽光発電施設建設

調査日：平成27年8月18・19・25・26日、
9月15・16日

調査面積：1,549.1㎡ [山本(2)：729.4㎡、
山本(3)遺跡819.7㎡]

b. 調査に至る経緯

過年度に浪岡地区で大規模に森林が伐採されている情報が、青森県文化財パトロール事業で委嘱した青森県文化財保護指導員から寄せられていたが、具体的な開発行為に関する情報がないままであった。

平成27年3月11日に教育委員会総務課経由で都市整備部用地課が行っている土地売買等届出に関する意見照会に関し、周知の埋蔵文化財包蔵地大釈迦山本(201-375)に隣接しているとともに大規模な開発計画が想定されることから、事前に届出者が当該課と協議するよう依頼する回答を行った。

その後も分掌された土地の手続で同様の回答を行い、届出者と協議するに至った。協議時点では、残雪が多い状況であったため、雪どけ後の4月16日に現地を踏査したところ、複数の丘陵から縄文土器片等を確認し、周知の埋蔵文化財包蔵地山本(2)遺跡(201-432)と山本(3)遺跡(201-433)として新規登録、併せて従前の山本遺跡を山本(1)遺跡(201-376)に名称変更する届出を4月21日付け青市教委文第18号で提出した。青森県教育委員会は、平成27年5月18日付け青教文第184号で、周知の埋蔵文化財包蔵地登録の通知を青森市教育委員会に行い、以降山本(2)遺跡と山本(3)遺跡に関する開発協議を継続した。

開発計画は、両遺跡を含む50haもの大規模な面積を太陽光発電所として建設するために造成する計画であったため、開発予定者との協議の結果、両遺跡を中心に試掘・確認調査を実施することとなった。

c. 調査方法

約50haの開発予定地のうち、山本(2)遺跡が27,832㎡、山本(3)遺跡が9,159㎡が含まれていた。周知の埋蔵文化財包蔵地内および周辺に任意に

トレンチを168地点〔山本(2)遺跡：76、山本(3)遺跡：92〕を設定し、重機および人力による掘削を実施した。

調査面積は、対象面積の4.2%に相当する1,549.1㎡〔山本(2)：729.4㎡、山本(3)遺跡819.7㎡〕である。

d. 調査結果

山本(2)遺跡では、トレンチ1・2・4・5・6・9～14・30・31・40・42・44・47から縄文時代前～晩期の土器片が出土し、特にトレンチ4(25点)・5(130点)・6(21点)9(21点)からの出土数が多い状態であった。トレンチ2・3・4からは遺構を確認し、配石等の可能性を有する礎の埋設が確認された。B20トレンチからはB-Tm火山灰が含まれる方形の土坑(製炭土坑)が検出され、平安時代の土地利用が想定される。土器は縄文土器を中心に285片、剥片・礎石器等が出土した。

山本(3)遺跡では、トレンチ7・18・20・23・24・26・27・34から山本(2)遺跡同様の縄文土器が出土したが、1～数点程度の出土量で、明確な遺構は確認されず、散布的な様相を呈することが判明した。また、B18トレンチから製炭土坑と考えられる遺構が検出しており、遺物が伴わず詳細時期が不明であるが、土地利用が裏付けられた。

本調査結果を踏まえ、開発予定者と再度協議し、遺構が検出された地点の保存・設計変更を要望し、開発予定者側も保存・設計変更を了承した。ただし、関連する手続の影響で、平成28年1月末現在、事業は止まった状態で、今後の状況変化に伴い、再協議が必要となる恐れがある。

7. 宮本(2)遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市大字羽白字野木和58-85

開発行為：土取り

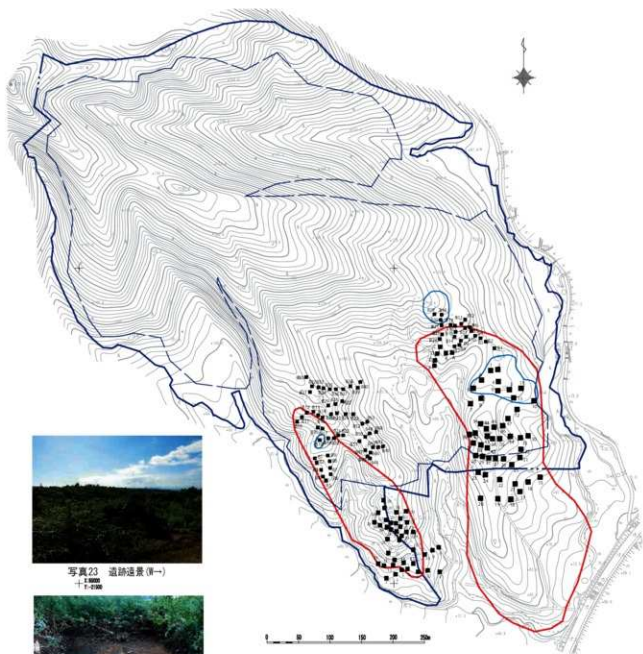
調査日：平成27年8月21日

調査面積：76.8㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年度に青森県文化財保護指導員から野木和(19)遺跡内において大規模掘削が行われた報告がなされ、無届の工事施工であることが判明した。平成27年度に入り、土地所有者を特定し、協議した結果、顔本書と発掘届が提出されることになった。その際に、隣接の宮本(2)遺跡(201-185)の一部についても新たに掘削を実施し、土取り場として利用する計画であることを新たに確認した。

宮本(2)遺跡の範囲内は、既に一部掘削が実施されている状況であったが、プライマリーな土層堆



第15図 山本（2）・（3）遺跡トレンチ配置図



写真23 遺跡途費 (R→)
+ 2.000
+ 1.000



写真24 山本(2)遺跡トレンチ3 (R→)



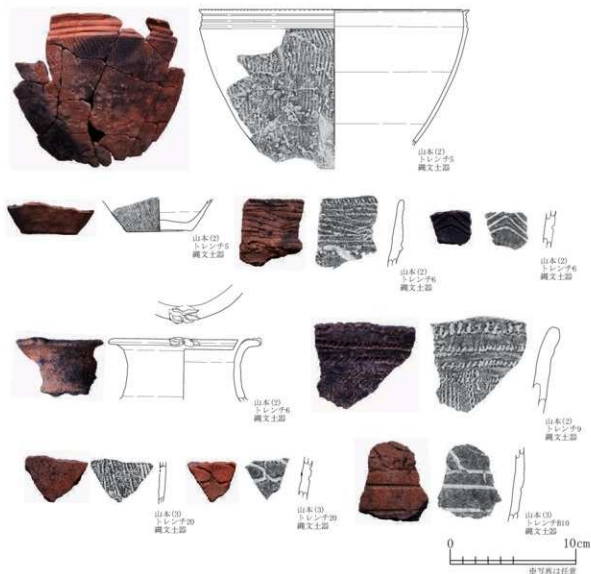
写真25 山本(2)遺跡トレンチB20
検出土坑 (S→)



写真26 山本(3)遺跡トレンチ32 (E→)



写真27 山本(3)遺跡トレンチ33
検出土坑 (E→)



第16回・写真28 山本(2)・(3)遺跡出土遺物

積が残存している部分があり、確認調査を実施し、埋蔵文化財の包蔵状況を確認することとなった。

c. 調査方法

敷地内のうち、削平を逃れた部分の任意の地点にトレンチを9か所設定し、重機および人力による掘削を実施し、遺構・遺物の有無・土層の堆積状況を確認した。調査対象面積 1,717㎡に対し、調査面積は 4.4%に相当する 76.8㎡である。

d. 調査結果

トレンチ9は、上層に盛土等の二次的な影響が見られたが、下層はプライマリーな土層堆積が認められた。それ以外のトレンチ1～8は、削平による二次的な土層堆積で、トレンチ1から土器片が57片出土したが、流れ込みによる影響が高く、プライマリーな堆積とは認められなかった。木根等による攪乱主体で、本調査が必要とされる遺構は検出しておらず、慎重工事が妥当であると判断され、平成

27年9月4日付け青教文第932号での青森県教育委員会からの通知文で、顔末書に対する厳重注意とともに、確認調査対象地に対しては「慎重工事」の通知がなされた。

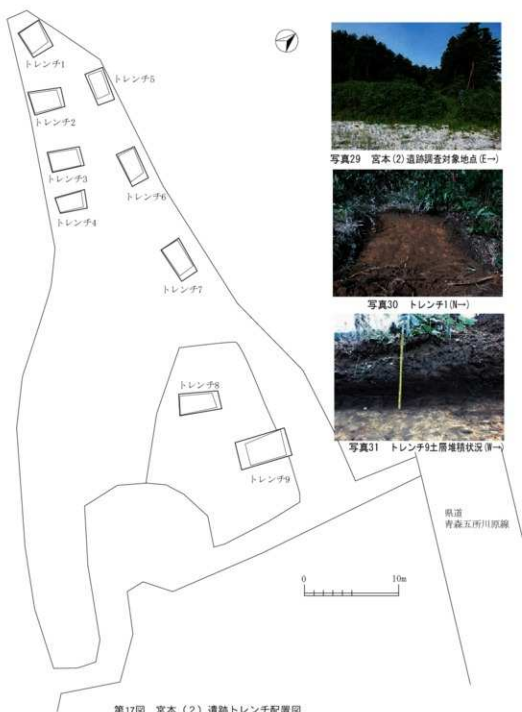
8. 三内沢部(3)遺跡

a. 調査概要

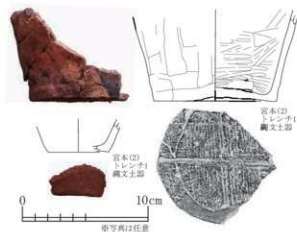
所在地：青森市大字三内沢部 315-7
 開発行為：住宅建設
 調査日：平成 27年9月14日
 調査面積：30.3㎡

b. 調査に至る経緯

平成 27年8月20日に民間業者から当課に住宅建設に係る周辺の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、三内沢部(3)遺跡(201-239)に該当していることが判明した。協議の結果、確認調査を実施することとした。



第17回 宮本(2)遺跡トレンチ配置図



第18回・写真32 宮本(2)遺跡出土遺物

c. 調査方法

住宅建設予定の敷地 180.3m²に対し、任意のトレンチを5か所設定し、重機および人力により掘削を行った。調査面積は、16.8%に相当する 30.3m²である。

d. 調査結果

斜面上方に相当するトレンチ1・2はGLから-30cm程度で地山面に達し、現代に掘削されたピットなどを確認した。トレンチ3から、傾斜の地形に沿ったプライマリーな黒色土が堆積する落ち込みを確認した。しかし、遺物は出土せず、上面が平坦と

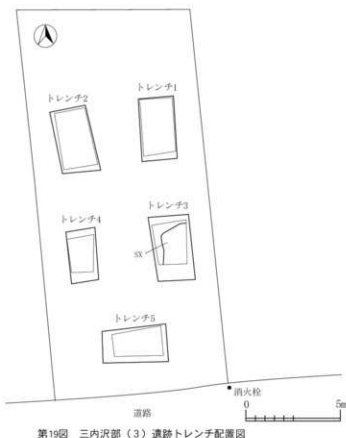


写真33 三内沢部(3)遺跡調査対象地点(S→)



写真34 トレンチ1(S→)



写真35 トレンチ2(S→)



写真36 トレンチ3(S→)



写真37 トレンチ4キャタピラ痕(E→)



写真38 トレンチ5土層堆積状況(N→)

盛土の影響で掘り込み面が確認されず、詳細は不明である。また70cmの盛土を確認している。

トレンチ4・5からは、削平面と重機の掘削根およびキャタピラ痕が確認され、トレンチ3の盛土の状況を踏まえると一度重機により造成され一部盛土が実施された地点であることが判明した。

いずれの地点からも遺物は出土していない。

トレンチ3検出の落ち込みについては、遺構の可能性が残るが、基礎掘削予定が現況GLから-55cmで盛土堆積の70cmの範囲内にとどまることから、地下の埋蔵文化財には影響が認められず、慎重工事が妥当であると判断され、平成27年9月30日付け青教文第1033号で「慎重工事」の通知がなされている。

9. 中屋敷遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市浪岡大字本郷字篠原9-2
開発行為：住宅建設(水道管敷設)

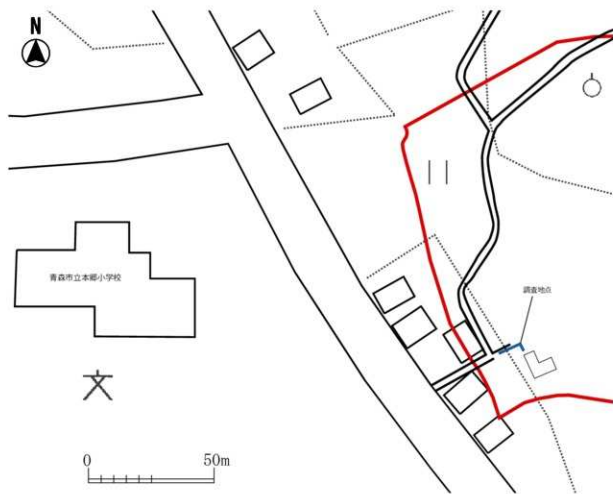
調査日：平成27年9月17日

調査面積：3.6㎡

b. 調査に至る経緯

平成27年6月4日に民間業者が市建築指導課へ建築確認申請を行った際、文化財に関する照会を実施した方が良いという話を受けたことから、当課に住宅建設に係る周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があった。遺跡地図と照合の結果、中屋敷遺跡(201-367)に該当していることが判明したが、対象地は、基礎打設の前に掘削工事を実施済ということで、顔末書を添え、平成27年6月11日付けで発掘届が提出され、平成27年7月6日付け青教文第514号で「厳重注意」の通知がなされた。

対象地に付随する工事として、住宅建築場所と既設水道管との接続が必要である旨の協議が業者側からあり、協議の結果、開削の際、確認調査を実施することとした。



第20図 中屋敷遺跡調査地点



写真39 掘削状況(S-1)



写真40 掘削状況(H-1)



写真41 土層堆積状況(S-1)

c. 調査方法

水道管敷設箇所を重機で掘削し、土層の堆積状況、遺構・遺物の有無確認を行った。開削幅は、30cmを基本とし、掘削深度は、地点により敷設深度が異なることから、適宜60～100cm程度を目安にした。調査面積は、3.6㎡である。

d. 調査結果

対象地は、原地形に砂利等が40～60cm盛られており、地点によっては砂利層の下位に礫混じりの盛土40～50cm堆積している。掘削部分の最下位に近い80～100cm程度の地点に元々の黒褐色腐植土層が確認できたが、遺構・遺物の確認はされなかった。

10. 近野遺跡②

a. 調査概要

所在地：青森市大字安田字近野 237-23
 開発行為：住宅建設
 調査日：平成27年9月28日
 調査面積：45.4㎡

b. 調査に至る経緯

平成27年4月16日に民間業者から当課に住宅建設に係る周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、近野遺跡(201-065)に該当していることが判明した。協議の結果、確認調査を実施することとした。



写真42 近野遺跡2調査対象地点(S-1)



写真43 トレンチ1(E-)



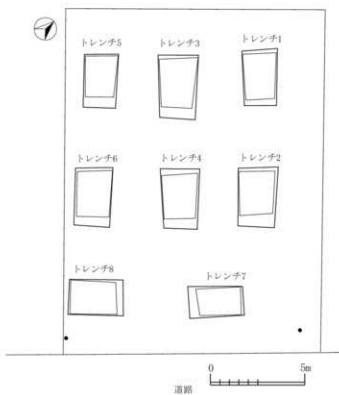
写真44 トレンチ2(W-)



写真45 トレンチ5(W-)



写真46 トレンチ8(W-)



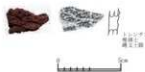
第21図 近野遺跡②トレンチ配置図



写真47 トレンチ3土層堆積状況(S-)



写真48 トレンチ7土層堆積状況(W-)



第22図・写真49 近野遺跡②出土遺物

c. 調査方法

住宅建設予定の敷地 248.8m²に対し、任意のトレンチを8か所設定し、重機および人力により掘削を行った。調査面積は、18.2%に相当する 45.4m²である。

d. 調査結果

表土直下に黒色土、その下に暗褐色土が 37～53cm 堆積するほぼプライマリーな土層が確認され、トレンチ 2・5・7・8 から土器、トレンチ 3 から剥片石器が出土し、遺跡内であることが裏付けられた。

しかし、発掘調査を要する竪穴建物跡や土坑等の遺構は確認されず、平成 14 年度に当委員会が発掘調査を実施した隣接部の発掘調査の遺構配置状況を見てもまばらな状況であったことから、本調査地については、遺跡内の空地に相当する可能性が高いものである。

よって、対象地内での工事については、慎重工事が妥当であると判断され、平成 27 年 10 月 8 日付け青教文第 1069 号での「慎重工事」の通知がなされている。

11. 野尻（4）遺跡

a. 調査概要

所在地：青森市浪岡大字徳才子字山本 105-2

開発行為：工場建設

調査日：平成 27 年 11 月 10 日

調査面積：216m²

b. 調査に至る経緯

平成 27 年 11 月 2 日に民間業者から当課に工場建設に係る周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、大釈迦工業団地内の野尻（4）遺跡（201-390）に該当していることが判明した。

大釈迦工業団地に係る野尻（4）遺跡は、平成 12～14 年度にかけ浪岡町大釈迦工業団地調査会によって発掘調査が実施され、平成 15 年度に発掘調査報告書が刊行されている（浪岡町教育委員会 2004）が、工業団地内の一部の区画は、発掘調査が未実施となっていた。

その後、平成 19 年度に倉庫建設に関し、市町村合併後の青森市教育委員会が発掘調査を実施している（青森市教育委員会 2008）。

今回の協議場所は、大部分が発掘調査済みの地点に相当するものの、一部が平成 19 年度に発掘調査を実施した地点の隣接部に相当し、未調査部分が 3.990m²となることが判明した。協議の結果、埋蔵文化財の包蔵状況を確認するため、確認調査を実施

することとした。

c. 調査方法

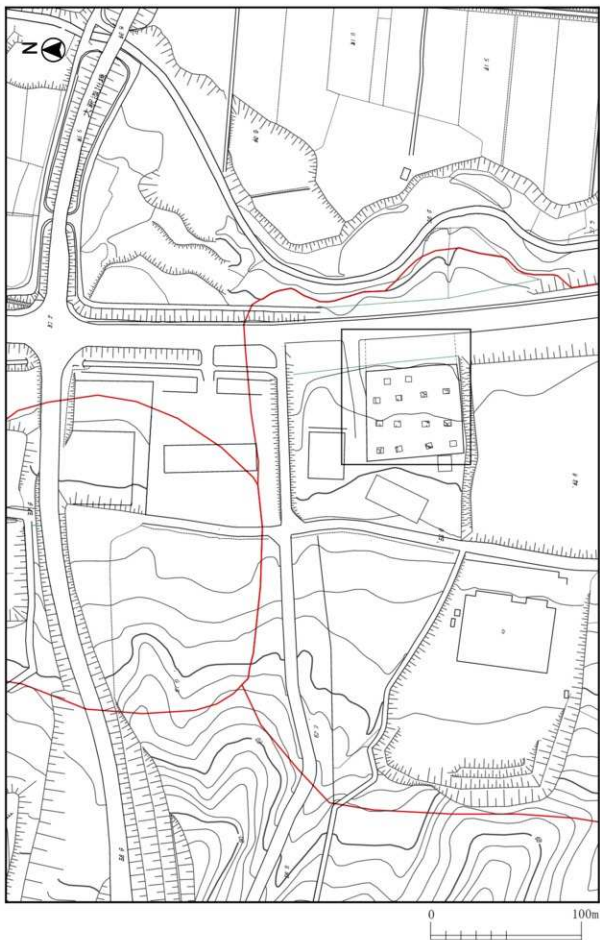
発掘調査未実施の対象地 3.990m²にトレンチを任意に 14 箇所設定し、重機および人力による掘削を行った。調査面積は、5.4%に相当する 216m²である。

d. 調査結果

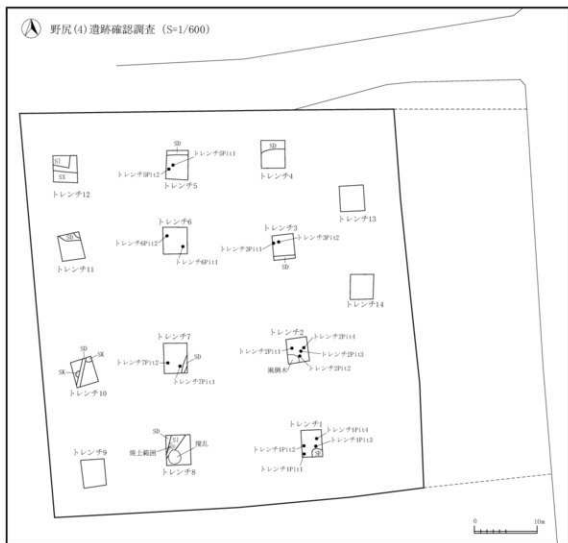
トレンチ 1：深さ 121-136cm、盛土厚さ 78-86cm、包含層厚さ 43-50cm、井戸跡 1・ピット 4、遺物：土器 4 点〔平安時代土師器〕、トレンチ 2：深さ 154-161cm、盛土厚さ 107-111cm 包含層厚さ 47-50cm、ピット 4・風倒木痕 1、遺物：土器 2 点〔平安時代土師器〕・轆 1、トレンチ 3：深さ 165-166cm 盛土厚さ 96-113cm、包含層厚さ 53-69cm、溝跡 1・ピット 2、遺物無、トレンチ 4：深さ 189-203cm、盛土厚さ 127-154cm、包含層厚さ 49-62cm、溝跡 1、遺物無、トレンチ 5：深さ 180-185cm、盛土厚さ 122-130cm、包含層厚さ 50-63cm、溝跡 1・ピット 2、遺物：土器 4 点〔平安時代土師器〕、トレンチ 6：深さ 120-131cm、盛土厚さ 80-87cm 包含層厚さ 40-44cm、ピット 2、遺物無、トレンチ 7：深さ 130-135cm、盛土厚さ 77-85cm、包含層厚さ 50-53cm、溝跡 1、ピット 2、遺物無、トレンチ 8：深さ 130cm、盛土厚さ 60-70cm、包含層厚さ 60-70cm、竪穴建物 1・溝跡 1、遺物無、トレンチ 9：深さ 120-130cm、盛土厚さ 55-56cm、包含層厚さ 64-65cm、遺構・遺物無、トレンチ 10：深さ 120-123cm、盛土厚さ 53-54cm、包含層厚さ 66-70cm、土坑 2、溝跡 1、遺物無、トレンチ 11：深さ 109-110cm、盛土厚さ 61-70cm、包含層厚さ 40-48cm、溝跡 1、遺物無、トレンチ 12：深さ 140-144cm、盛土厚さ 80-94cm、包含層厚さ 50-60cm、竪穴遺構 1、性格不明遺構 1、遺物無、トレンチ 13：深さ 204-209cm、盛土厚さ 162-166cm、包含層厚さ 38-47cm、遺構・遺物無、トレンチ 14：深さ 177-190cm、盛土厚さ 141-150cm、包含層厚さ 36-40cm、遺構・遺物無

前述のとおり、調査対象地の南側は、大釈迦工業団地造成に伴う発掘調査が平成 12～14 年度に発掘調査が実施されている。また西側は、倉庫建設に伴う発掘調査が平成 19 年度に実施され、各調査で平安時代の大規模な集落跡が確認されている。本対象地についても今回の調査の結果、遺構密度はややまばらではあるが、平安時代の竪穴建物跡、井戸跡、溝跡、平安時代以降のピット跡などが確認されており、以前の調査地点で確認された集落の延長部に相当するものと判断される。

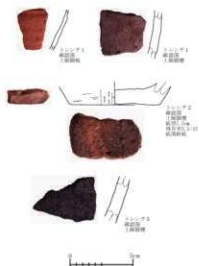
調査地点は、原地表面に対し 53～166cm 程度



第22図 野尻(4)遺跡調査地点



第23図 野尻(4)遺跡トレンチ配置図



第24図・写真50 野尻(4)遺跡出土遺物

の盛土がされており、その直下に厚さ 40～70cm 程度の現代～平安時代～(縄文時代)の遺物包含層の堆積が認められる。斜面下方に相当する東側のトレンチ 13・14 では、盛土厚が 141～166cm と厚く、包含層が土圧により変形が生じた状態である。

本調査結果を基に、開発予定者と協議し、開発予定者側で計画を再検討中であるが、平成 28 年 1 月末現在、計画の確定に至っていない状態である。

12. 近野遺跡③

a. 調査概要

所在地：青森市大字安田字近野 276-1 外
 調査原因：福祉施設新築計画
 調査日：平成 27 年 11 月 17 日
 調査面積：67.5㎡

b. 調査に至る経緯

平成 27 年 10 月 28 日に民間業者から当課に福祉施設建設に係る周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、近野遺跡 (201-065)



写真51 野尻(4)遺跡調査対象地点(南→)



写真52 掘削状況(S→)



写真53 遺構確認状況(南→)



写真54 トレンチ1(南→)



写真55 トレンチ8(S→)



写真56 トレンチ8土層堆積状況(E→)



写真57 トレンチ12(S→)



写真58 トレンチ13(S→)

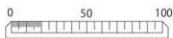
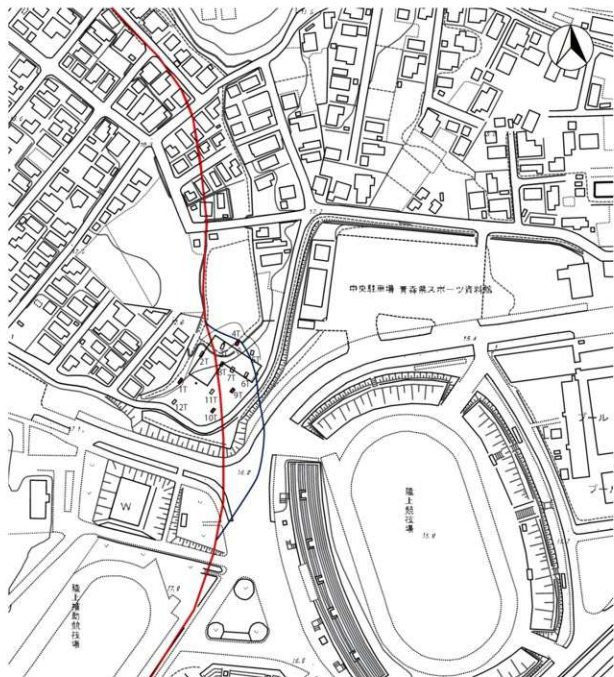
に該当していることが判明した。

対象地は、平成12年度に青森市教育委員会で試掘・確認調査が実施されている土地であったが（青森市教育委員会2000）、その後宅地として造成された丘陵地点〔発掘調査は平成14年度に実施（青森市教育委員会2003）〕以外の湿地上に相当し、当時の調査でも雨水が多い時期の調査であったため、限定的な内容で、情報について不十分な内容であった。

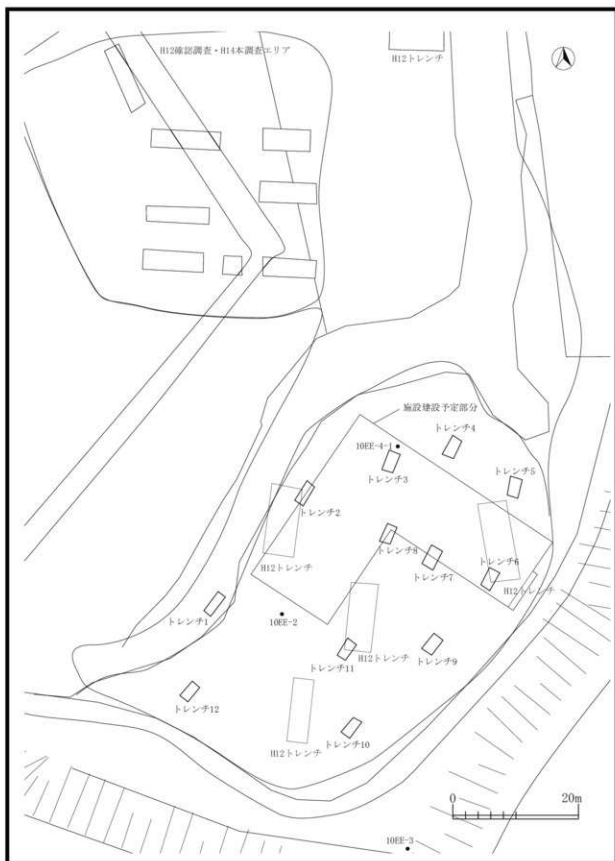
今回、新たな開発に際し、開発予定者と協議の上、対象地について改めて試掘・確認調査を実施することとした。

c. 調査方法

当初、施設建設予定地以外の北側の地点も造成計画があるため、6,000㎡を対象に調査が計画されたが、その後、施設建設予定地周辺の2,701㎡を対象とするよう変更の依頼があり、対象面積が変更となった。調査は、対象地にトレンチを任意に12箇所設定し、重機による掘削および人力による遺物の有無確認および土層の堆積状況を主体に確認した。調査面積は、施設建設エリア2,701㎡に対し、2.5%に相当する67.5㎡である。



第25図 近野遺跡③調査地点



第26図 近野遺跡③トレンチ配置図



写真59 近野遺跡3調査対象地点(E→)



写真60 掘削状況(E→)



写真61 トレンチ4土層堆積状況(W→)



写真62 トレンチ6土層堆積状況(W→)



写真63 トレンチ9土層堆積状況(W→)



写真64 トレンチ10土層堆積状況(W→)



写真65 トレンチ11土層堆積状況(W→)



写真66 トレンチ12土層堆積状況(W→)

d. 調査結果

トレンチ1：深さ470cm以上、盛土厚さ270cm、遺物：縄文土器、トレンチ2：深さ490cm、盛土厚さ270cm、遺物：礫、トレンチ3：深さ460cm、盛土厚さ170cm、遺物：礫・陶磁器（近代）、トレンチ4：深さ510cm、盛土厚さ230cm、遺物：縄文土器・礫・陶磁器（近代）、トレンチ5：深さ360cm、盛土厚さ130cm、遺物：無、トレンチ6：深さ310cm、盛土厚さ270cm、遺物：無、トレンチ7：深さ270cm、盛土厚さ250cm、遺物：無、トレンチ8：深さ400cm、盛土厚さ340cm、遺物：無、トレンチ9：深さ250cm、盛土厚さ170cm、縄文時代中期盛土（造成）層検出、遺物：縄文土器極多量、石器、トレンチ10：深さ310cm 盛土厚さ290cm、遺物：縄文土器・陶磁器（近代）、トレンチ11：深さ480cm、盛土厚さ370cm、遺物：無、トレンチ12：深さ410cm、盛土厚さ300cm、盛土中塵材多量、遺物：無

調査対象地は、前述のとおり、平成12年度に一部試掘・確認調査を実施しているが、部分的な調査にとどまり、その後、平成14年度住宅地として造成された西側の丘陵部分が発掘調査されている。

そのため、今回の調査地点は、平成12年度から大きな変化がなく、前調査で不足していた遺跡範囲と、開発計画で建物が建築予定の地点（トレンチ2・3・6・7・8が相当）周辺の埋蔵文化財の包蔵状況を確認したことになる。

原地表面の湿地に2m前後の盛土が行われ、現地表面となっており、現地表面からの掘削深度は地点によって5m近く掘削しても地山面まで到達しない地点があった。安全面上、途中で掘削を中止した地点が含まれる。その中で、トレンチ9から縄文時代中期の縄文土器を多量に包含する盛土層が検出された。地形的に傾斜は東側の青森県総合運動公園陸上競技場側へ向かって高くなっており、斜面に沿った落ち際を埋める盛土層の可能性はある。

本調査結果を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を拡張し、平成27年12月7日付け青教文第1346号で、範囲拡張が登録された（第Ⅱ章参照）。

また、開発事業者側で、地質調査のための発掘届が平成27年12月3日付けで青森県教育委員会へ提出され、平成27年12月9日付け青教文第1351号で「慎重工事」の通知がなされている。

その後、開発計画の設計案の提示があり、協議を進めている。

13. 阿部野（2）遺跡

a. 調査概要

所在地：大字幸畑字阿部野12-80

調査原因：車庫建設

調査日：平成27年12月21日

調査面積：13.7㎡

b. 調査に至る経緯

平成27年11月16日に民間業者から当該に工場建設に係る周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、遺跡地図と照合の結果、阿部野（2）遺跡（201-219）に一部該当していることが判明した。

現地を確認したところ、周辺の畑で土器片が散布している状況を確認し、埋蔵文化財の包蔵が想定された。協議の結果、対象地に対し試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の包蔵状況を確認することとした。

c. 調査方法

車庫建設予定地（約60㎡）に任意にトレンチ3箇所を設定し、重機および人力による掘削を実施した。調査面積は、調査対象面積の22.8%に相当する13.7㎡である。

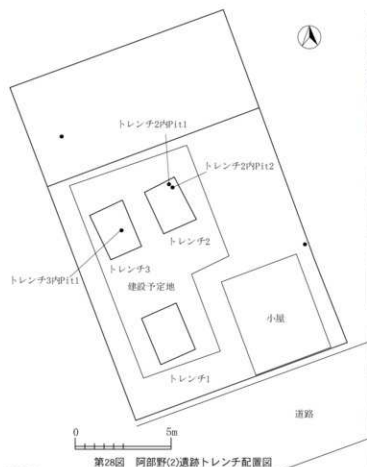
d. 調査結果

トレンチ1：深さ41cm（砂利20cm）、遺構・遺物無、トレンチ2：深さ51cm（砂利36cm）、現代の攪乱ピット2、その他の遺構無・遺物無、トレンチ3：深さ58cm（砂利28cm）、現代の攪乱ピット1、その他の遺構無・遺物無。

対象地は、調査前に畑地として利用されていた部分に車庫建設のため事前に砂利敷をしていた土地であった。

対象地および付近の住宅地は昭和50年代に造成されたようで、本調査地についても原地形を造成し、フラットにした状態であることが確認された。

対象地周辺の畑地には、縄文時代後期の土器片などの散布の確認し、本調査地を含めた一帯が周知の埋蔵文化財包蔵地「阿部野（2）遺跡」内に含まれるものと判断されるが、今回の建設予定地内については、造成による破壊などが認められ、遺構・遺物の確認がなされなかったことから「慎重工事」が妥当と判断され、平成28年1月19日付け青教文第1509号で「慎重工事」の通知がなされている。



第28回 阿部野(2)遺跡トレンチ配置図

補定資料

第2章で報告した新規登録遺跡のうち、山本(4)遺跡(201-437)の発見の経緯は、平成27年度に青森市教育委員会が実施した国史跡浪岡城跡環境整備工事の施工中、保護土用として搬入された黒色土中に土器片が混入していることを確認した事による。

青森市教育委員会では、工事施工業者から、黒色土の納入業者および採取場所を特定し、現地を踏査して、遺跡範囲の登録に至っている。

土取りとして利用された場所は、覆に大部分が削平され、一部縄文土器片等の散布が認められたが、削平等が著しく、遺構の確認には至っていない。浪岡城跡環境整備工事に搬入された土中から確認した土器は、第29図に参考資料として掲載したが、非ロケロの食器具を含む土師器主体で、10世紀後半以降のものであると考えられる。

土取りの業者と協議を実施したところ、土取り場所は、ほとんど土を掘り戻した状態であることから、これ以上の開発の計画はなく、今後、他の地点で土取りを実施した際に、埋蔵文化財が発見された場合は、遅滞なく届け出るよう注意を行った。



写真68 トレンチ1(N→)



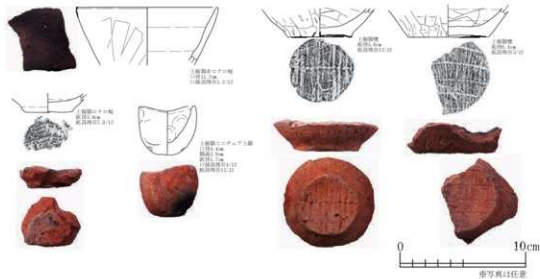
写真69 トレンチ2(S→)



写真70 トレンチ3(S→)



写真71 山本(4)遺跡内土取り状況(E→)



第29回・写真72 山本(4)遺跡内土取り場所出土土器

報告書抄録

ふりがな	しないいせきでんはつくちょうさほうこくしよにじゅうよん
書名	市内遺跡群発掘調査報告書24
副書名	
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第119集
編著者名	木村淳一、設楽政健
編集機関	青森市教育委員会
所在地	〒038-8305 青森県青森市柳川二丁目1番1号 TEL017-761-4796
発行年月日	西暦2016年3月18日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
三内丸山(5)遺跡	青森市大字三内丸山	02201	250	40° 48' 27"	140° 41' 49"	20150212	89.4	資材置場
近野遺跡①	青森市大字女田字近野	02201	065	40° 48' 32"	140° 42' 15"	20150519	23.1	住宅建設
露草遺跡	青森市八重田3丁目	02201	061	40° 49' 54"	140° 48' 03"	20150520	141.6	介護関連施設建設
本郷松元遺跡	青森市浪岡大字本郷字松元	02201	438	40° 41' 31"	140° 37' 12"	20150522 20150525	88.2	水道管敷設
野田遺跡	青森市大字野田字野田	02201	439	40° 46' 53"	140° 46' 13"	20150522 20150525	60.8	側溝敷設
山本(2)・(3)遺跡	青森市浪岡大字大野字山本	02201	432 433	40° 46' 00" 40° 45' 58"	140° 35' 10" 140° 35' 05"	20150818 20150916	729.4 819.7	太陽光発電施設建設
宮本(2)遺跡	青森市大字羽白字野木和	02201	185	40° 50' 38"	140° 40' 10"	20150821	76.8	土取り
三内沢部(3)遺跡	青森市大字三内字沢部	02201	239	40° 48' 56"	140° 41' 35"	20150914	30.3	住宅建設
中屋敷遺跡	青森市浪岡大字本郷字権原	02201	367	40° 49' 24"	140° 47' 23"	20150917	3.6	住宅建設 水道管敷設
近野遺跡②	青森市大字女田字近野	02201	065	40° 48' 28"	140° 42' 20"	20150928	45.4	住宅建設
野尻(4)遺跡	青森市浪岡大字徳子字山本	02201	390	40° 44' 42"	140° 34' 55"	20151110	216.0	工場建設
近野遺跡③	青森市大字女田字近野	02201	065	40° 48' 26"	140° 42' 22"	20151117	67.5	福祉施設 新築計画
阿部野(2)遺跡	青森市大字幸野字阿部野	02201	219	40° 47' 23"	140° 47' 18"	20151221	13.7	車庫建設
山本(4)遺跡	青森市浪岡大字徳子字山本	02201	437	40° 45' 14"	140° 34' 50"	20151001	—	分布調査

要約	平成27年度に実施した市内遺跡発掘調査事業について、青森市教育委員会実施の試掘・確認調査13件の調査成果、そして新規発見遺跡5遺跡、範囲変更遺跡1遺跡、各事業照会の概要等を所収した。
----	---

引用・参考文献

- 青森県教育委員会2001『宮本(2)遺跡』青森市埋蔵文化財調査報告書第293集。
 青森市教育委員会2000『市内遺跡発掘調査報告書』青森市埋蔵文化財調査報告書第59集。
 青森市教育委員会2003『近野遺跡発掘調査報告書』青森市埋蔵文化財調査報告書第68集。
 青森市教育委員会2008『野尻(4)遺跡発掘調査報告書』青森市埋蔵文化財調査報告書第95集。
 青森市教育委員会2008『市内遺跡発掘調査報告書14』青森市埋蔵文化財調査報告書第97集。
 浪岡町教育委員会2004『野尻(4)遺跡』浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第10集。

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1942	『市内遺跡発掘調査報告』	青森市埋蔵文化財調査報告書	※ 第41集	2002	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』
※ 2	1943	『大内川遺跡発掘調査報告』		※ 第42集	2002	『福山遺跡発掘調査報告書』
※ 3	1943	『玉湯本遺跡発掘調査報告』		※ 第43集	2002	『福山遺跡発掘調査報告書(2)』
※ 4	1970	『三内丸山遺跡発掘調査報告』		※ 第44集	2002	『市内遺跡発掘調査報告書』
※ 5	1971	『野木和遺跡発掘調査報告』		※ 第45集	2002	『雲山山吹(4)～(7)遺跡発掘調査報告書』
※ 6	1971	『玉湯本遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第46集	2002	『福山遺跡発掘調査報告書(3)』
※ 7	1971	『土道遺跡発掘調査報告』		※ 第47集	2003	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書』
※ 8	1972	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第48集	2003	『正新遺跡発掘調査報告書』
	1979	『飯沢遺跡』		※ 第49集	2003	『市内遺跡発掘調査報告書(14)』
	1983	『西ノ輪遺跡調査報告書』		※ 第50集	2003	『小牧野遺跡発掘調査報告書(9)』
青森市の埋蔵文化財	1983	『山形川遺跡』		※ 第51集	2004	『福山遺跡発掘調査報告書(4)』
	1985	『丘森遺跡発掘調査報告書』		※ 第52集	2004	『福山遺跡発掘調査報告書(5)』
	1986	『田代木野遺跡発掘調査報告書』		※ 第53集	2004	『福山遺跡発掘調査報告書(6)』
	1987	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第54集	2004	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』
	1988	『三内丸山(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第55集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書(12)』
青森市埋蔵文化財調査報告書				※ 第56集	2004	『江渡遺跡発掘調査報告書』
※ 第16集	1991	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第57集	2005	『雲山(1)遺跡発掘調査報告書』
※ 第17集	1992	『埋蔵文化財出土土遺物調査報告書』		※ 第58集	2005	『赤坂遺跡発掘調査報告書』
※ 第18集	1991	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』		※ 第59集	2005	『三内丸山(8)遺跡発掘調査報告書』
※ 第19集	1991	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第60集	2005	『市内遺跡発掘調査報告書(13)』
※ 第20集	1991	『小牧野遺跡発掘調査報告書』		※ 第61集	2005	『合子沢古倉(2)遺跡発掘調査報告書』
※ 第21集	1994	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第62集	2005	『三内丸山(9)遺跡発掘調査報告書』
※ 第22集	1994	『三内丸山(3)遺跡発掘調査報告書』		※ 第63集	2006	『合子沢古倉(3)遺跡発掘調査報告書』
※ 第23集	1994	『三内丸山(4)～(6)遺跡発掘調査報告書』		※ 第64集	2006	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(2)』
※ 第24集	1995	『市内遺跡(1)～(3)遺跡発掘調査報告書』		※ 第65集	2006	『小牧野遺跡発掘調査報告書(2)』
※ 第25集	1995	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第66集	2006	『市内遺跡発掘調査報告書(14)』
※ 第26集	1995	『坂本(2)遺跡発掘調査報告書』		※ 第67集	2006	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(3)』
※ 第27集	1996	『坂本(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第68集	2006	『安藤高野野田遺跡発掘調査報告書(2)』
※ 第28集	1996	『三内丸山(7)遺跡発掘調査報告書』		※ 第69集	2006	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』
※ 第29集	1996	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第70集	2007	『日見野(1)遺跡発掘調査報告書』
※ 第30集	1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』		※ 第71集	2007	『市内遺跡発掘調査報告書(15)』
※ 第31集	1997	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第72集	2007	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(4)』
※ 第32集	1997	『坂本(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第73集	2007	『合子沢古倉(4)遺跡発掘調査報告書』
※ 第33集	1997	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』		※ 第74集	2007	『三内丸山(10)遺跡発掘調査報告書』
※ 第34集	1997	『飯沢(2)遺跡発掘調査報告書』		※ 第75集	2008	『野沢(4)遺跡発掘調査報告書』
※ 第35集	1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第76集	2008	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(4)』
※ 第36集	1998	『坂本(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第77集	2008	『市内遺跡発掘調査報告書(16)』
※ 第37集	1998	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』		※ 第78集	2008	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(5)』
※ 第38集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』		※ 第79集	2008	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(6)』
※ 第39集	1998	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第80集	2009	『市内遺跡発掘調査報告書(17)』
※ 第40集	1998	『小牧野遺跡発掘調査報告書』		※ 第81集	2009	『飯沢野(1)遺跡発掘調査報告書』
※ 第41集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』		※ 第82集	2009	『大矢沢野田遺跡発掘調査報告書(2)』
※ 第42集	1998	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』		※ 第83集	2009	『福山遺跡発掘調査報告書(18)』
※ 第43集	1999	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第84集	2010	『江森遺跡発掘調査報告書』
※ 第44集	1999	『飯沢(2)遺跡発掘調査報告書』		※ 第85集	2010	『飯沢(2)遺跡発掘調査報告書』
※ 第45集	1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第86集	2010	『三内丸山(11)遺跡発掘調査報告書』
※ 第46集	1999	『飯沢野・野木遺跡発掘調査報告書』		※ 第87集	2011	『三内丸山(12)遺跡発掘調査報告書』
※ 第47集	1999	『福山遺跡発掘調査報告書』		※ 第88集	2011	『三内丸山(13)遺跡発掘調査報告書』
※ 第48集	2000	『飯沢野遺跡発掘調査報告書』		※ 第89集	2011	『市内遺跡発掘調査報告書(19)』
※ 第49集	2000	『福山遺跡発掘調査報告書』		※ 第90集	2012	『市内遺跡発掘調査報告書(20)』
※ 第50集	2000	『小牧野遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第91集	2012	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(5)』
※ 第51集	2000	『坂本(1)～(3)山吹(3)遺跡発掘調査報告書』		※ 第92集	2012	『三内丸山(14)遺跡発掘調査報告書』
※ 第52集	2000	『大矢沢野田(1)遺跡調査報告書』		※ 第93集	2013	『三内丸山(15)遺跡発掘調査報告書』
※ 第53集	2000	『市内遺跡発掘調査報告書』		※ 第94集	2013	『市内遺跡発掘調査報告書(21)』
※ 第54集	2001	『飯沢野遺跡発掘調査報告書(3)・野木遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第95集	2013	『大矢沢野田遺跡発掘調査報告書(3)』
※ 第55集	2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書(3)』		※ 第96集	2014	『三内丸山(16)遺跡発掘調査報告書』
※ 第56集	2001	『福山遺跡発掘調査報告書(1)』		※ 第97集	2014	『市内遺跡発掘調査報告書(22)』
※ 第57集	2001	『福山遺跡発掘調査報告書(2)』		※ 第98集	2015	『市内遺跡発掘調査報告書(23)』
※ 第58集	2001	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』		※ 第99集	2016	『市内遺跡発掘調査報告書(24)』
※ 第59集	2001	『市内遺跡発掘調査報告書』				
※ 第60集	2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書(3)』				

青森市埋蔵文化財調査報告書第119集

市内遺跡発掘調査報告書24

発行年月日 2016年(平成28年)3月18日
 編集 青森市教育委員会
 〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号
 TEL 017-761-4796
 印刷 アクセス二十一出版有限公司
 〒030-0802 青森県青森市本町1丁目2-5
 TEL 017-722-1373